

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-512237(P2005-512237A)  
 【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-017  
 【出願番号】特願 2003-551711(P2003-551711)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/50

H 0 1 L 21/82

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 6 8 K

H 0 1 L 21/82 T

H 0 1 L 21/82 C

H 0 1 L 21/82 W

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 3 日 (2004.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タイミングモデル抽出のためのアサーションハンドリングをインプリメントする方法であって、

アサーションと関連付けられている位置を識別するステップと、  
タイミングモデルを抽出するステップと、  
該アサーションを該タイミングモデルに自動的に関連付けるステップと  
 を包含する、方法。

【請求項 2】

前記位置を識別するステップは、ピンを識別するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アサーションは、前記タイミングモデルのピンを保持することによって保存される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記アサーションは、階層ピンに関連付けられた階層ピンアサーションを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

新たな内部ピンを作成するステップをさらに包含する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

アークを作成するステップであって、該アークは、該アークのソースから前記新たな内部ピンへと伸びる、ステップをさらに含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記アークは、ゼロ遅延アークを含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記アークは、スルー保存アークを含む、請求項 6 に記載の方法。

## 【請求項 9】

前記階層ピンを前記新たな内部ピンにマッピングするステップをさらに包含する、請求項 5 に記載の方法。

## 【請求項 10】

前記新たな内部ピンは、前記タイミングモデルに保持される、請求項 5 に記載の方法。

## 【請求項 11】

前記アサーションは、ポートアサーションを含む、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 12】

前記ポートアサーションは、入力ポート、出力ポート、または双方向ポートのいずれかに関連付けられている、請求項 11 に記載の方法。

## 【請求項 13】

前記ポートアサーションに関連付けられている新たな内部ピンを作成するステップをさらに包含する、請求項 11 に記載の方法。

## 【請求項 14】

前記新たな内部ピンに対してアークを作成するステップをさらに包含する、請求項 13 に記載の方法。

## 【請求項 15】

前記新たな内部ピンは、前記タイミングモデルに保持される、請求項 13 に記載の方法

。

## 【請求項 16】

前記アサーションに関連付けられている情報は、前記タイミングモデルに格納される、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 17】

前記アサーションに関連付けられている情報は、セルレベルの属性として前記タイミングモデルに格納される、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 18】

請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の方法を実行するシステム。

## 【請求項 19】

格納された命令のセットを有するコンピュータプログラム製品であって、該格納された命令のセットを実行することによって、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の方法が実行される、コンピュータプログラム製品。